

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	6	議員名	原田守	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	観光の現状と「ふるさと納税」の状況と制度改正への対応について	(1) 「ふるさと納税」について、毎年の状況を伺っているが、改めて令和7年度の寄附実績および運用の状況を伺う。 (2) 「ふるさと納税」は、10月から制度改定されるが、本市として新基準への対応や準備は整っているのか、また今後の見通しを伺う。					
2	観光振興促進のためのフィルムコミッションの重要性について	(1) 「フィルムコミッション」の目的、意義、活動内容について、松江市の関係性を含め伺う。 (2) 「VIVANT」や「ばけばけ」等の具体例を通じて、本市におけるフィルムコミッションの活動や波及効果について伺う。 (3) 観光振興において、フィルムコミッションの活動は、今後ますます重要と捉えるが、松江市は後押ししていただけると期待を込めて今後の方針を伺う。					
3	若者の視点に立った交通政策と魅力ある都市拠点の整備について	(1) 松江市中学生議会で提案された通学における公共交通機関の利便性向上と施策への反映の可能性について伺う。 (2) 令和3年度より松江市内の普通科高校の通学区が廃止され、高校選択の自由度が増した。松江市は広大で、周辺部からはどの高校であろうと2時間の通学時間は日常である。松江東高校に至っては、比較的近隣であっても乗り換えにより2時間かかり、進学を選択を断念した人もいと聞いた。「夢を実現する松江」にとって、高校選択の夢をかなえる交通政策は重要だと考える。今後の交通政策に関する考え方を伺う。 (3) 若者に魅力あるまちにするための拠点整備について、中学生、高校生を中心とした若者に対するアンケート調査をすることについて伺う。					
4	松江市における各種基金について	(1) 令和7年度決算において、松江市が保有する基金の令和6年度からの変動について伺う。 (2) 「将来負担比率」について解説を伺う。 (3) 基金が減ったことによる市政運営、市民サービスへの影響を伺う。 (4) 基金の減少にともなう将来負担比率の現状と今後の見通しについて、どう分析しているか伺う。 (5) 令和7年度決算で、「松江市地域振興基金」と「島根公共用施設維持基金」が0円になった。0円になった意味を伺う。また、今後積み立てるか伺う。 (6) 基金を積み立てる意味を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	7	議員名	岩本雅之	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
		質問項目	質問要旨				
1		立地適正化計画について	(1) 居住誘導区域の考え方について伺う。				
2		居住性能評価指標のイメージについて	(1) 人口集積度における評価指標のイメージを伺う。 (2) 生活利便性における評価指標のイメージを伺う。 (3) 公共交通利便性における評価指標のイメージを伺う。 (4) 生活の快適性における評価指標のイメージを伺う。 (5) 公共施設集積性における評価指標のイメージを伺う。 (6) 近隣自治体と隣接する地域では、生活・経済エリアとして圏域を越えて居住性能評価をすべきだと考えるが如何か伺う。				
3		持続可能な地域づくりについて	(1) 現在、新たな土地利用制度の検討に併せて、松江市都市マスタープラン・立地適正化計画の改定作業を進めていると聞く。持続可能な地域づくりに向けて、市全体として、どのような取組を推進していくのかを伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	8	議員名	津森良治	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	国旗の損壊等の処罰に関する法律の施行を受けて		(1) 市長の国旗損壊罪法への認識や受け止めについての考えを伺う。 (2) 国旗国歌法の施行以降、本市の市長部局並びに教育委員会では、今日までの27年間にわたり、どのように国旗を取り扱ってこられたのか、そして、この度の国旗損壊罪法の施行にともなって、本市において国旗を取り扱っている現場では何らかの対応をなされるのか伺う。				
2	本市の未来を担う子どもたちの教育環境について、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置について		(1) 「地域の実情」について、どのような検討がなされて、その検討結果を今後の適正規模・適正配置（統廃合を含む再編）に反映した計画を策定されるのか、考えを伺う。 (2) 当事者である児童生徒の声、保護者の声はどのように反映されるのか伺う。 (3) 本市は、各公立小・中学校に校区制を敷き、小中一貫教育を推進している。地域との結びつきが強いものと受け止めている。最終的に統廃合を進めて行くに当たっては、地域住民の意向（思い）はどのような手段で聴取される考えか伺う。 (4) 今後の取組には、市長部局の関与が今まで以上に重要となる。市長部局はどのように教育委員会と連携強化を図られるのか伺う。				
3	不登校支援について		(1) 本市の、学校内外の専門職等による相談や支援を受けている不登校児童生徒の割合、また、教育支援センターで支援を受けている不登校児童生徒の割合はどの程度か伺う。 (2) 本市も不登校は誰にでも起こり得ることと認識しておられる。その認識を保護者や教職員が共有するためにも、高知市でのフェーズシート（不登校の子どもたちがたどる一般的な過程を理解した支援の在り方）を作成し、保護者や教職員に配布することは不登校への理解・支援につながる有効な手段として受け止めたが、フェーズシートについての所見を伺う。 (3) 本市が取り組んでいる不登校支援には、どのような問題や課題があると捉えているのか、その改善には、今後、どのような対応が必要と考えているか伺う。そして、本市でも「学びの多様化学校」を設置してはと考える。所見を伺う。				
4	夜間中学について		(1) 県内の各教育委員会と夜間中学に対する情報共有や意見交換はどんな状況なのか伺う。 (2) 本市において夜間中学が必要であるのか、夜間中学があれば学びたいのか等、その意向を確認するニーズ調査を実施していただきたいと考える。所見を伺う。				
5	松江市立皆美が丘女子高等学校について		(1) 皆美が丘女子高は県立高校魅力化ビジョンにどのように位置付けられているのか伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	8	議員名	津森良治	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
		(2) 2030年度以降の統合を含めた在り方を議論することになるであろう、次期の県立高校の魅力化ビジョンに皆美が丘女子高を抱える本市はどのような形で関わっていくことになるのか、また、松江市の通える範囲の普通科校の一つとして皆美が丘女子高は位置付けされることになるのか伺う。 (3) 本市は、今後とも皆美が丘女子高を存続していくという方針は揺るぎないものと認識してよいのか伺う。 (4) 10代の大切な時期を通じて、学べる中高一貫校について検討する余地があるものと思うが、所見を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	9	議員名	太田哲	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	重要伝統的建造物群保存地区について		(1) 令和9年度以降に国庫補助事業として建造物の修理、修景事業、防災事業等、実施される予定である。今後の課題と町並み整備には時間がかかると思うが、いつ頃を目途とされているのか伺う。 (2) 美保関地区重伝建については保存のために修復をしていかなければならない建物を多く見かける。そのための職人は確保できるのか伺う。 (3) 美保関地区は地理的に見ても生活圏は境港市である。境港市の理解と連携が必要と思うが見解を伺う。				
2	国宝松江城天守「令和の大修理」について		(1) 五城連携しての親子床磨きは好評である。来年以降、修理工事期間はどのような考えか伺う。 (2) 松江城は廃城が決まり明治8年、陸軍による解体を条件に払下げが決定されたが、高城権八・勝部本右衛門親子が私財を投じて松江城を救ったと言われている。改めてどういった経緯があったのか、どんな思いで私財を投じたのか文献を含め見解を伺う。 (3) 買い取り後「明治の大修理」はどのように修復されたのか伺う。 (4) 「令和の大修理」の総事業費は29億円と伺った。各企業から寄附の願いや企業版ふるさと納税など計画をされている。また、松江城施設整備基金も創設するが国宝松江城天守保存修理事業について伺う。 (5) お城の絵を募集して募金箱を飾る取り組みをされている。何名の方が応募されたのか伺う。 (6) 選定のため表彰も必要だが、お城の絵に挑戦された方を市報に掲載するなど、何か顕彰があっても良いと思うが見解を伺う。				
3	小動物(害獣)の駆除について		(1) 基本的に野生の小動物は鳥獣保護法で管理されており駆除は勝手にできず、市に申請し許可が無ければ駆除できないそうである。見解を伺う。 (2) 小動物の被害は市の担当課や支所に相談されているのか伺う。また、許可の申請件数と、どのように指導、対応をされているのか伺う。				
4	人権問題について		(1) 松江市では部落差別解消推進法を受けて、特に人権についてどのような取り組みをされているのか伺う。 (2) 松江市において部落差別についての相談やSNS被害状況と、どのように把握されているのか伺う。 (3) 地域人権教育推進協議会や人権問題に取り組んでいる各団体に考えを伺い、他の自治体の状況の調査を行い、宣言や条例制定の必要性について検討すると1年前に答弁されている。現時点の見解を伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	10	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	公共交通の充実に ついて	(1) 松江市は「市民が暮らしやすく、お出かけしたくなるまちづくりに貢献できる公共交通」を目指すべき姿として掲げている。公共交通が身近にあり、利用しやすく、負担が少なく目的地に行けることは、市民の生活と社会参加を保障するうえで重要である。 松江市として、市民の「交通・移動する権利」をどう捉えているのか、見解を伺う。 (2) 路線バスに加え、12地域でコミュニティバス、うち4地域でAIデマンドバス「のるーと」が運行され、ボランティアによる移送支援を行う地域もある。交通の仕組みがあるかどうかだけでなく、本当に必要としている人が、必要な時に利用できるかということが大切ではないか。 現在公共交通を利用しにくい状況はどうか、また、バス停までの距離や路線の有無だけでなく、坂道、便数、高齢者や障がいのある方の身体的状況なども含め、実際の利用のしやすさを把握する実態調査を行うべきと考えるがいかがか伺う。 (3) 地域によって必要な交通手段はそれぞれ異なるものとなる。 実態調査を行ったうえで、住民との話し合いの場を設け、地域のニーズに合った移動手段を住民とともに検討し、具体的な取り組みにつなげていくことが必要ではないか。見解を伺う。					
2	原発事故時の避難 と医療体制について	(1) 島根原発は2024年12月に再稼働された。 全国各地で大規模な地震や豪雨災害が相次いでいる状況を考えれば、自然災害と原発事故が重なる複合災害への市民の不安が、再稼働前にもまして強まっているのではないかと。市として、こうした市民の不安をどう受け止めているのか、認識を伺う。 (2) 原発が稼働している以上、自治体には、市民の命を守るために避難計画を不断に見直し、実効性を高める責任がある。 現在の避難行動要支援者名簿について、登録者数、更新状況、本人の状況変化をどのように把握しているのか伺う。 一人ひとりの避難場所、避難方法、支援者などを定める個別避難計画の策定状況も伺う。 また、策定できていないケースの主な原因をどう捉えているのか伺う。 (3) 個別避難計画について、想定されている支援者が実際に対応できるのか、道路が寸断された場合の移動手段や、避難先での介助・医療的ケアをどうするかなど、最低限必要なことを想定しておくことが避難者の命を守るためにも欠かせないと思う。現時点での課題など、認識を伺う。 (4) 市民の安全を最も確実に守る道は、島根原発2号機を停止し、原発のない松江を目指すことではないか。 政府の原発推進方針に追随するのではなく、松江市として原発2号機の停止を求め、原発のない松江を目指すべきと考えるが、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	10	議員名	佐野みどり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
3	市民の暮らしを守る施策について	(5) 松江赤十字病院では、原子力災害時にも診療を継続するためのBCP策定に向けた検討が進められ、松江市も関係する協議に参加している。 BCP策定に向けた協議に、松江市はどのような立場で参加し、これまでどのような協議をされてきたのか経過を伺う。また、その協議を通じて、人員の確保など、原子力災害時における医療現場の課題を、市としてどのように認識しているのか伺う。 (6) 医療・介護の人手不足を解消し、災害時にも対応できる医療体制を作るため、市として、医療・介護事業所の職員確保や処遇改善、労働環境改善などを国に求めるとともに市独自の支援策を求める。見解を伺う。 (1) 物価高騰が続き、市民の暮らしはますます厳しくなっている。先日訪問看護・介護事業所の関係者と意見交換をする機会があり、電気やガス、水道も止まっている方の厳しい状況をお聞きした。 水道料金を一定期間滞納している世帯については、生活全体が困窮しているサインである可能性がある。現在行われている福祉部門との連携の具体的現状はどうか。連携をさらに強化する必要があるのではないか、見解を伺う。 (2) 松江市は物価高騰が続く中、この10月から水道料金を大幅に引き上げる。同時に、水道料金値上げに対する激変緩和措置として、2か月間の基本料金減免の方針を示している。 減免措置を講じるのは、今回の値上げが市民生活に大きな負担となると認識したからではないか。2か月間だけでなく抜本的な対策が必要と考える。見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	11	議員名	錦織伸行	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	世界文化遺産登録を含めた国際文化観光都市・松江のあり方について	(1) 先般開催された中学生議会において、市長は、松江は京都、奈良とともに国際文化観光都市である一方、松江だけはオーバーツーリズムになっていないという趣旨の発言をされた。 ア もちろんユーモアを交えた発言であったと思うが、その真意を伺う。 イ 国際文化観光都市として、現在の松江市の観光客数、特に外国人延べ宿泊客数の現状をどのように評価しているのか伺う。 (2) 松江市はこれまで、広島方面からの外国人観光客の誘客を目的とした高速バスへの支援をはじめ、様々なインバウンド施策を実施してきた。 ア これらの施策が実際にどの程度、外国人延べ宿泊客数の増加、観光消費につながったのか。その効果をどのように検証しているのか伺う。 イ 宿泊税について「あなたの宿泊税が松江の未来につながります」と説明している一方、宿泊割引クーポンなどにも活用されている。宿泊税も導入したからこそできた新しい観光施策は何か。短期的な誘客策だけではなく、5年後、10年後にも松江に残る観光資源や受入環境への投資をより重視すべきと考えるが、宿泊税の今後の活用方針について伺う。 (3) 本年11月、ICOFORT国際会議2026 in 松江が開催される。 ア ICOFORTとはどのような組織であり、今回の国際会議がなぜ松江で開催されることになったのか。また、松江市はどのような形で関わっているのか伺う。 イ 松江城の世界文化遺産登録を目指す取組の中で、今回の国際会議をどのように位置付けているのか伺う。 ウ 専門家だけの国際会議にとどめず、市民、とりわけ中学生をはじめとする若い世代が、松江城や城下町の国際的な価値を知る機会として活用する考えはないか伺う。 (4) 松江城周辺の建築物の高さについて、現在31メートルを基準とする景観形成案が検討されている。この案に対して丸山知事は、県庁舎が建設当時から松江城の景観に配慮して設計された経緯、財産権への制約、松江赤十字病院など既存建築物の将来の建て替えや都市機能への影響などについて問題提起をされている。 ア 市長も報道機関の取材に一定の考えを示しているが、改めて議会の場で、知事の指摘をどのように受け止めているのか伺う。 イ 専門委員会において31メートルという基準を検討する過程で、既存建築物、財産権、行政・医療などの都市機能への影響をどのように検討したのか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	11	議員名	錦織伸行	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
2	地域文化・伝統を生かした地域づくりと防災について	ウ 松本市をはじめ、歴史的城郭を持つ他都市においても、世界文化遺産登録や歴史的景観の保全と、都市機能や市民生活との両立が図られている。こうした他都市の事例をどのように研究し、今回の景観形成基準に反映しているのか伺う。 エ 31メートルか32メートルかという高さの議論だけではなく、50年後、100年後に松江城からどのような松江の町を見せ、城下町からどのように松江城が見える町を残していくのか、世界文化遺産を目指す都市としての市長の将来像を伺う。 (5) 市長は、松江の文化・観光を語る際、松江城とともに茶の湯文化を重要な柱として挙げている。 ア 市長自身は茶道を習った経験があるのか伺う。 イ 松江城、茶の湯、小泉八雲を個別の観光資源としてではなく、一つの「松江文化」として調和させ、国内外への発信と次世代への継承につなげていく考えについて伺う。					
		(1) 松江市は、地域の祭りや伝統行事、市民活動によって形成される住民同士のつながりを、文化振興だけではなく、地域づくりや地域防災力という観点からどのように評価しているのか伺う。 (2) 市長は2期目最初の議会において、町内会・自治会を含めた今後の地域づくりのあり方について、プロジェクトチームをつくって検討すると明言された。この問題については6月議会でも進捗状況を確認したが、その後、現在までにどのような検討が進んだのか、プロジェクトチームの具体的な構成部局、検討内容、現在までの進捗状況、今後一定の方向性を示す時期について伺う。 (3) 町内会・自治会は任意団体である一方、ごみ集積所、ごみ収集、防災、福祉、見守り、環境美化、地域行事など、市民生活に不可欠な様々な分野で行政施策を支えている。各部局が現在、町内会・自治会にどのような役割や協力を求めているのか、庁内横断で一度棚卸しをした上で、政策部が関与し、関係部局を横断して「松江市としてこれから地域コミュニティをどう維持し、育てるのか」という政策として再構築する考えはないか伺う。 (4) 行政が町内会・自治会に様々な役割をお願いする一方で、地域住民が自ら参加したいと思う活動を支援することも、地域コミュニティを維持する上で重要と考える。鑿行列をはじめとする地域文化・伝統行事を、文化・観光だけではなく、市民活動、地域づくり、防災、地域経済など複数の政策効果を持つ活動として評価する考えはないか伺う。 (5) 地域の伝統行事については、担い手不足、高齢化、資材費や運搬費の上昇など、地域側の負担も増している。鑿行列をはじめとする地域の伝統行事への補助・支援についても、単なる文化事業としてではなく、地域コミュニティの維持、防災力、次世代育成などへの政策的効果を含め、庁内横断的な支援制度として改めて検討する考えはないか、場合によっては雨天中止時の報奨金のあり方も含めて伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	12	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	リユース家電を活用した「家電循環サイクル」の構築を			(1) 現在、松江市が進めているリユース促進について、これまでの利用件数、取り扱われた家具・家電の件数について、市はどのように把握しているのか伺う。 (2) 松江市として新品家電の買替支援を検討する考えがあるのか伺う。 (3) 今後、このリユースの取り組みを松江市として一歩前に進め、「市民の生活を支える資源」として位置づけ、リユース事業者等と連携したリユース家電の循環サイクルを検討し、「資源を循環させ、人の暮らしを支えるまち」につなげていく考えが松江市にはあるのか伺う。			
2	電気自動車を活用し、環境にやさしく、かつ防災力アップを			(1) 最初に公用車のEV化について伺う。現在、松江市が保有する公用車は全体で何台あり、そのうちEV、PHEVなどの環境対応車両は何台あるのか伺う。また、EVについては、単に走行時のCO2削減という環境面だけではなく、災害時の非常用電源として活用できる車両が何台あるのか、併せて伺う。 (2) 次に、避難所である公民館等について伺う。松江市では、すでに脱炭素先行地域の取り組みとして、公民館へのEVの導入を進めている。そこで、現在までに、公民館にはEVは何台配置されているのか。また、EVに蓄えた電力を住宅や公共施設に供給することができる設備は、何か所の公民館に設置しているのか。加えて、その設備を使うと停電時にどの程度の電力をどの程度の時間供給できる想定なのか伺う。 (3) 現在、EVやこれら設備について、災害時の具体的な運用マニュアルや訓練が行われているのか伺う。 (4) 公共施設への太陽光発電設備やソーラーカーポートの設置状況はどうか。今後、公共施設設置の太陽光発電設備、公用車のEV化、給電・充放電設備を一体的に整備し、平常時は環境にやさしく、災害時は防災という二つの機能を持った、もしものときの地域のエネルギー及び防災拠点を公民館などに整備していく考えはないか伺う。 (5) 災害時における電力の確保を目的として、松江市と事業者において災害時の連携に関する協定などはあるのか。また、事業者・市民・行政が平常時から防災訓練を行ったり、災害時にEVを派遣したりなどの協力体制を構築することへの市の考えを伺う。 (6) 環境政策と防災政策を推し進めていくために関係部局が連携をとることや、政策部が全市的な視点をもち推進役・調整役となって政策を進めていくことに対しての市の考えを伺う。			
3	持続可能な町内会・自治会、公民館に向けて			(1) 市長施政方針では、「配布物や回覧物の見直し、各種手続きのオンライン化などにより、町内会・自治会における負担の軽減を図り、誰もが参加しやすい仕組みと環境を整えていく」とあるが、現在の取り組み状況を伺う。			

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	12	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
		質問項目	質問要旨				
			(2) 市長施政方針には、「時代背景に合った見直しや工夫を加え、持続可能な町内会・自治会、公民館を目指していく」とあり、大いに期待するところであるが、現在、または今後、どういう視点をもって検討をしていくのか、市の見解を伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	13	議員名	石倉聡之	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月9日
質問項目		質問要旨					
1	地域防災計画の改定を踏まえた避難所環境の整備について			(1) 地域防災計画の改定において、避難所の生活環境についてはこれまでと比べてどのような対策が新たに盛り込まれたのか伺う。 (2) 携帯トイレ用の凝固剤59万8500回分を備蓄目標とするなかで、令和7年9月時点では2万8千弱の備蓄数に留まっているが、大規模災害が発生した場合にどのように補完するのか伺う。 (3) トイレトレーラー等の導入・活用についてどのような検討を行ってきたのか伺う。 (4) 避難所におけるシャワー・入浴環境をどのように確保するのか考えを伺う。 (5) 本市ではペットとの同伴避難について、環境整備などを検討しているのか考えを伺う。			
2	酷暑を踏まえた行政サービスの継続と熱中症対策について			(1) 労働安全衛生規則の改正に伴い、市長部局や教育行政等において対象となる職場をどのように把握し体制を整備しているのか伺う。 (2) 熱中症が発生した場合の報告や対応手順をどのように定め職員に周知しているのか伺う。 (3) 国が定める「職場における熱中症防止対策のためのガイドライン」では作業環境管理として、通風、冷房設備、塩分やミネラル補給のタブレットや経口補水液等の備付け等が必要となっているが本市での状況を伺う。			